

第2回 小郡市男女共同参画社会推進審議会 会議概要

○日時

令和5年11月9日(木) 10時30分～12時00分

○場所

小郡市役所 南別館三階 会議室

○出席委員 12名/12名中

○事務局

○傍聴者 3名

○次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 経過説明

4 議事

(1) 第3次小郡市男女共同参画計画(案)について

(事務局説明)

(会長) ご意見ご質問はないか。

(委員) 書きぶりについて提案したい。3ページのSDGsについて、アイコンなどで分かりやすく「見える化」するとよい。ジェンダーの視点は17の目標の5番目である。

(会長) 計画書の4ページの余白に入れるのはどうか?メディアでもよく見かけるアイコンの一覧を入れると親切だ。

(事務局) 県の計画書にもアイコンで説明がしてある。

(委員) 次に4ページの「女性がいきいき」という表現は「女性の活躍応援協議会」の趣旨を踏まえて「生き生き」は「いきいき」とひらがなに改めるべきでは。もともと女性が活力をもっていくことを「いきいき」と表現しているものだ。他にも「生き生き」と表現されているところがある。12ページ、31ページも「いきいき」に修正してほしい。

(委員) 5ページの資料が、総務省のデータだと思うので、出典をきちんと書くべきだ。11ページの現状と課題のところには市民意識調査と書いてあるが、これは市のHPに掲載されているか?

(事務局) まだ、掲載していない。

(委員) 調査の正式名称は何か?

(事務局) 正式名称は「男女共同参画に関するアンケート調査」である。

(委員) 15ページの「推進体制」が他の表記と書き方が違う。「推進体制の整備」と

いう表記も見たが、他のところと書きぶりが違うのが気になる。

(会長) 「推進体制」のところは？

(事務局) 本日配付した資料の52ページであるが、「計画の推進体制」という表現にして、「全庁的な施策の推進」と項を起こしているところだ。

(委員) 「推進体制の整備」として、形を揃えたほうがよい。

(会長) 推進体制というのは施策の中に必要なものか？

(事務局) 推進体制の中に5つの施策を含んでいる。施策の位置づけと見なしている。

(委員) 「推進体制の整備」でよいのではないか。

(事務局) 第5章として、「推進体制の整備」とした方がよいということか？

(委員) 他の書きぶりと同じようにした方がよいということだ。

(会長) 確かに推進体制という語がぼつんとあるのは気になる。

(事務局) 基本目標1～3とは少し違うので、事務局内部で検討する。

(会長) なら、どのように決まったのか委員に連絡していただけるということか？

(事務局) 決定後、連絡する。「いきいき」についても箇所箇所で趣旨を踏まえて検討し、連絡する。

(委員) 1ページのジェンダーギャップ指数の表現が「先進国で最低」なのではなく「世界の国々の中で最低レベル」だと表記するべきではないか。

3ページ、「世界の動き」では、西暦と年号が併記してある場所と年号だけのところがある。西暦を書いてほしい。

5ページのグラフについても見やすくなる工夫をお願いしたいと思っていたところ、最新版では見やすく修正してあったのでこれはよい。

DV 相談の件数はホットラインの相談件数と総務広報課への相談件数の合計と読み取れるが、子育て支援課とか、健康課や福祉課など市役所の他の部署への相談もまとめられた上での数値なのか質問する。

(事務局) 総務広報課への相談件数の数値だ。他の部署から総務広報課へつながったものも含むが、各部署のみで対応した件数は含んでいない。長寿支援課、高齢者への虐待などリンクしているものもあることは承知している。

(委員) 高齢者や障がい者への虐待や子育てでの虐待などは含まれていないということか。もしかしたら、他にもあるのではないか。

(事務局) 子育て支援課では主に子どもの虐待から、面前DVにつながる事案もあるかもしれないが、その数値は入っていない。

(委員) DVと虐待は関連もあり得るので、それぞれの事案の数値はダブルカウントとはならないのではないか。件数はもっとあると思う。

(会長) 「先進国最低レベル」の件など、文言の修正は？

(事務局) 現在の表記は国等の表記に倣ったものであるもので、いろいろ他の報告書等も参考にして、持ち帰って検討する。

- (会長) なら決定したことを審議会委員へお知らせいただきたい。
- (事務局) 西暦の扱いについても、世界の動きには西暦を入れたいという意図だったが…。
- (会長) すべてに併記すると全体の分量も増える。
- (事務局) そういうことも踏まえて、どこまで西暦表記を入れるかを検討したい。
- (委員) 希望としては、3ページ、4ページだけでも入れてほしい。
- (事務局) 了解した。
- (委員) さっきのDV件数についてだが、2次プラン策定するときにも、この数値が全体の件数をあらわしていないのではないかという指摘があったが、「検討する」という返事のまま、今回も同様の数値の扱いになっている。統計を取るのだから、市内の実数を把握する体制づくりをしてほしい。
- (事務局) 件数の取り方は市内独自に行うものでもないの、他市町村の集計方法を参考にして検討していく。過去に遡って集計方法を改めることも難しい上、経年変化を同じ基準で見るとという意味もある。今後、よりよい集計の仕方を探っていく。
- (事務局) 子どもの虐待や高齢者の虐待など、重複するものも出てくると考えられるので、なかなか正解はでないと思うが、どういう形での集計がいいのかを探っていく。
- (委員) 子どもの虐待や高齢者の虐待などいろいろある中で、DV件数の数値が実際の数値とは違うのであれば、どこかの部分で統合されたものが必要ではないか？
- (事務局) なかなか難しい問題があり相談電話もホットラインに委託しているし、国や県の相談電話まですべてを市が把握するのは難しい。経年変化も見る資料として掲載させてほしい。
- (会長) 時間に限りがあるので、第4章、5章までの説明をお願いします。
- (事務局説明)
- (会長) 基本目標1について質問は？
- (委員) 16ページの3行目「はじめとした」という表現は、重複しているので「背景とした」とした方がよい。
- 18ページ、「若年層」だけとは限らないので、「幅広い層」に修正した方がよい。
- 19ページの目標の用語と数値はどこから来ているものか？
- (事務局) 「始めとした」と「背景とした」の方が適切であり、修正する。
- 「若年層」を「幅広い層」に修正する。
- 19ページの用語は第2次計画の目標値、中間見直しの数値、今回のアンケートによる現状の数値である。

- (委員) 数値目標は全国的なものかと思っただが、小郡独自のものなのか？
- (事務局) 過去の計画から引き継いでいる小郡の目標である。10年前の計画と用語自体をそのまま引き継いでいる。
- (会長) 第2次計画は5年で見直されてるのか。10年計画であるなら、10年後の目標値を示すべきではないか。
- (事務局) 第2次計画でも10年後の目標値を上げているので、この目標値を令和15年度とする。
- (会長) 現状から5年後の目標、10年後の目標と段階的に示しては？
- (事務局) 現状としては5年ごとのアンケート調査は行っていない。
- (会長) ということは、目標値は令和15年とするべきで、目標値をもっと上げるべきではないか？
- (委員) 16ページに固定的役割分担意識の調査結果のグラフがあるが、男女別にグラフを出すと、違った結果になるのでは？女性がどういう意識を持っているか、興味がある。固定的な役割分担意識が残っている世代があるという指摘があるが、年代別グラフを見ると、もっとも性的役割分担に賛成しているのは18歳、19歳の世代だ。賛成している人の比率だけを見ても次が20台、我々の世代は3位だ。これはどういうことを意味しているのか？男女共同参画推進に取り組んで20年にもなるのに。
- (会長) 賛成だけではなく、どちらかといえば賛成も合わせてみると、70代が一番多い。
- (委員) 賛成だけで見ると、18歳19歳が一番多い。今まで相当の労力をかけて行ってきたのに、どういうことかと思う。国民の意識に問題があるのか、この20年間の政策が間違っていたのか？教育に問題があるのか？疑問に思う。
- (事務局) 18歳、19歳でアンケートに答えたサンプル数が非常に少ないから、若い層全体の意見がきちんと反映されていないという面もあるのでは？
- (会長) 男女別のグラフはあるのか？ならば男女ごとのグラフを出すということでもいいか？目標値も令和10年とあるところを15年に変更ということでもいいか。
- (事務局) 数値については、今後、会長と協議して決定したい。
- (委員) 数値が現実から乖離してはいけない
- (会長) では、基本目標2について事務局より説明をお願いします。
- (事務局説明)
- (会長) 基本目標2についてご意見、ご質問を。
安心して暮らせるということ、現在は企業でも考えるようになってきている。女性の生理で何千億円もの損失があるということが明らかになってきた。そういう意味ではウェルビーイングという考え方が広がることは意義がある。

女性と性に向き合うことが必要だ。

(委員) 基本目標の2の領域では女性という視点が抜けてきているように感じる。「だれもが」になってしまっていて、小郡市がどういう女性の活躍を期待しているのかが見えない。女性の視点が薄まっている。小郡市が男女共同参画推進をどうするのかを書き込んで欲しかった。

(会長) 確かに女性の健康などの視点が薄まっているように感じる。今の企業の女性と性に関する取組みをみると本当に変わってきている。

(事務局) 男女共同参画だから、女性はもちろん、男性も含めて「あらゆる市民」にとって安心・安全な市を目指している。女性の健康に関する取組みも書いているつもりだが。

(委員) 書きぶりを含めて、男女共同参画を打ち出すことができるとよい。

(委員) DVを認知すること。DVを自分で発見する人や相談の中で発見する人もいる。市民がお互いに早期発見に努めるし、他の市町村から小郡市に移り住んできた人もいる。発見してどう支援するかに力を入れてあるが、「情報の提供と適切な自立支援」を挿入してほしい。

(会長) 今のご意見については？

(事務局) 「被害者の保護」の欄に、情報提供、行政サービスとしての支援を載せていきたい。

(会長) では、基本目標3から第5章「推進体制」まで説明を。

(事務局説明)

(会長) 基本目標3についてご意見、ご質問を。

(委員) P41 「女性の希望に添った就業支援」だが、内容が漠然としている。「職場環境の整備」も漠然としている。P43 「男女が働きやすい」というところに「家庭と仕事の両立」という文言を入れてはどうか。「条件整備」という表現も対象がぼやけている。「周知の後」とあるが、5年かかって「周知」の段階ではいけないのではないか。具体的な取組みが必要だ。P44は「農業における男女共同参画の推進」ではないか。

(事務局) P41の表現はもう少し分かりやすい表現に改める。P44の人事法制課の施策は庁内の取組として記載している。書きぶりを整理する。

(会長) 「家庭と仕事の両立」という言葉は、女性に対してしか使わない傾向がある。だから、この言葉を入れることは好ましくないのでは。

(事務局) 男性も家事をするということを踏まえていきたいと思う。

(会長) ご意見を踏まえて、第3次計画の策定を進めてほしい。議事を終了したので、司会を事務局に返す。

5 今後のスケジュール

(事務局説明)